

横浜市 人材育成指標【教員版】

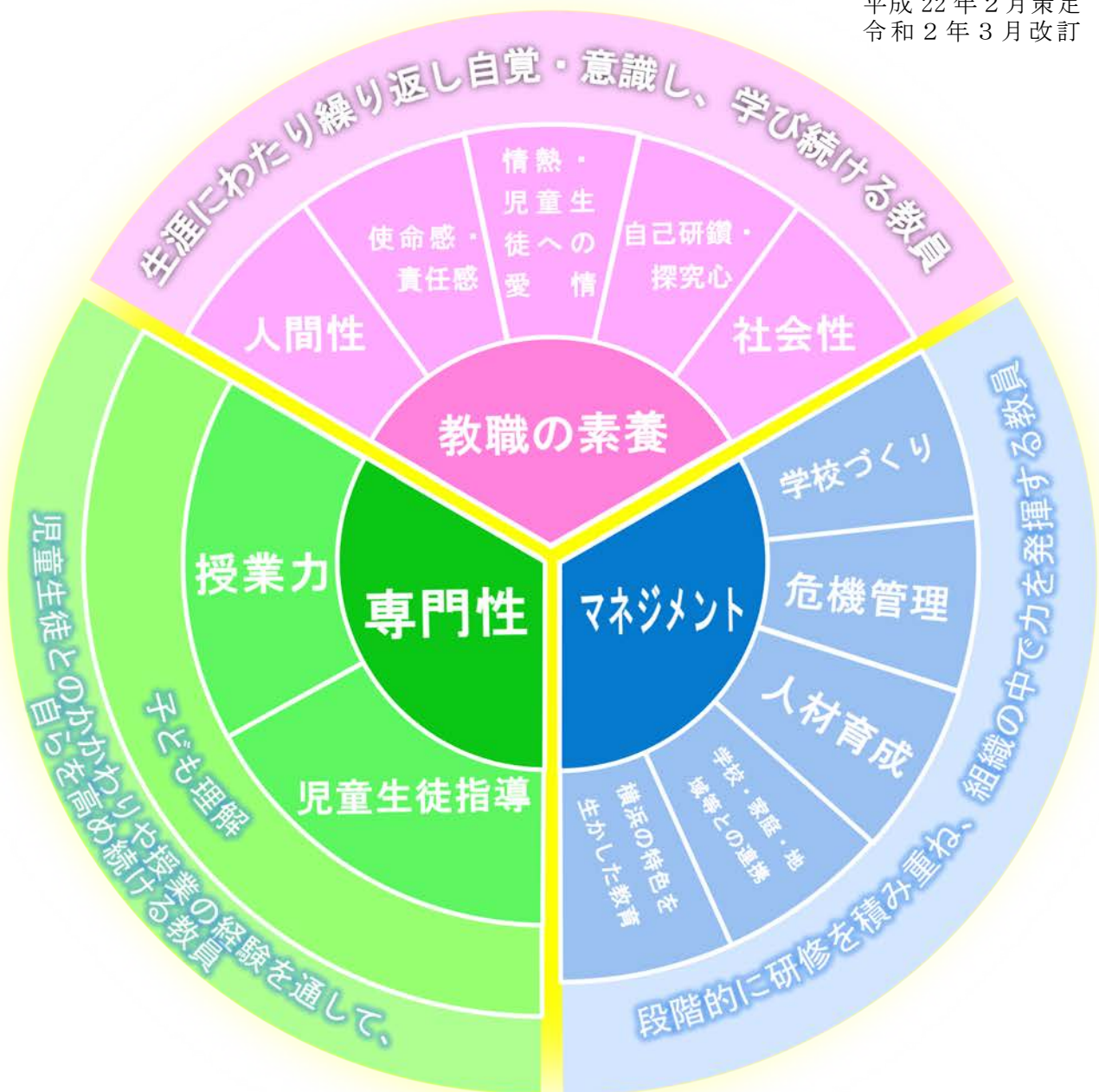
横浜市の教員が身に付けるべき3つの資質・能力は

「教職の素養」「専門性」「マネジメント」です。

円の外側に「どのように身に付けていくべき資質・能力なのか」について、それぞれの特質に合わせた方法を示しています。

資質・能力の中でも、特に「専門性」は、児童生徒とのかかわりや授業の経験を通すことで、その力が高まっていきます。また、「専門性」を構成する「授業力」と「児童生徒指導」には、生活背景も含めた子ども理解が基本にあり、インクルーシブ教育やキャリア教育の考え方が基礎となっています。

平成 22 年 2 月策定
令和 2 年 3 月改訂



横浜市 人材育成指標【教員版】

さらに3つの資質・能力を構成する要素及び要素を捉える視点については、この表で示しました。

目指す教員像	資質・能力	要素	視点	
生涯にわたり繰り返し学び続ける教員 自覚・意識し、	教職の素養	人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○教育に関する理念 ○人権感覚 ○多様性の尊重 ○倫理観 ○共感する力・受け止める力 	
		使命感・責任感	<ul style="list-style-type: none"> ○教育公務員としての使命感 ○教育公務員としての責任感 	
		情熱・児童生徒への愛情	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情 ○誇りと情熱 	
		自己研鑽・探究心	<ul style="list-style-type: none"> ○課題発見・解決能力 ○向上心 ○創造力 ○自己省察 	
		社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力 ○人間関係構築力 ○市民意識 ○信頼 	
児童生徒とのかかわりや授業の経験を通して、 自らを高め続ける教員	専門性	子ども理解	授業構想	<ul style="list-style-type: none"> ○「社会に開かれた教育課程」の実現 ○深い教材解釈・幅広い教材開発 ○専門性の追究
			授業展開	<ul style="list-style-type: none"> ○授業形態や指導方法の工夫 ○指導技術の向上 ○授業研究の推進
			評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> ○学習評価の理解 ○指導と評価の一体化 ○不断の授業改善 ○教育課程の改善
		児童生徒指導	児童生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> ○人権教育の推進 ○カウンセリングマインドに基づいた指導や支援 ○的確な実態把握と指導
			集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営の充実 ○協働的な活動の充実 ○いじめや不登校の未然防止と対応
			教育的ニーズに対応した指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた指導や支援の工夫 ○校内支援体制の推進・整備 ○関係機関等との連携
段階的に研修を積み重ね、組織の中で力を発揮する教員	マネジメント	学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営ビジョンの理解 ○学校経営への参画 ○組織の活性化への寄与 ○目標の実現に向けた実行力 ○学校評価・財務管理 	
		危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○防災 ○防犯・安全 ○法令遵守（不祥事防止） ○学校事故の未然防止と対応 	
		人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア・デザイン ○協働性 ○自己管理（メンタルヘルス） ○後進の育成 ○人材活用・管理 	
		学校・家庭・地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わり ○学校運営協議会 ○資源の活用 ○発信・広報 ○学校間の連携の促進 	
		横浜の特色を生かした教育	<ul style="list-style-type: none"> ○都市が抱える教育課題への対応 ○グローバル人材の育成 ○つながりを重視した教育の充実 ○自分づくり教育の推進 ○働き方改革に資する業務改善 	